

## 2024年度事業報告

### 1. 趣旨(目的)

当法人は、人間と技術の調和を基調とした科学技術の振興を図り、もって社会経済の発展に寄与することを目的とする。この目的を達成するため、現在は科学技術のなかでも特に人工知能、メカトロニクス(注1)、及びロボティクス(注2)に関する分野を中心として、普及活動及び助成事業、広報事業、並びに情報交流及び国際交流を行う。

注1:メカトロニクス・・・機械工学(メカニクス、Mechanics)と電子工学(エレクトロニクス、Electronics)を合わせた和製英語で、機械装置に電子工学的知見を融合させることによって、新たな価値を求めようとする学問・技術分野。

注2:ロボティクス・・・狭義には、ロボット工学と呼ばれ、センサ／知能処理／効果器を有するシステムで、実世界で動作、相互作用するシステム。広義には、ロボット学と呼ばれ、実世界情報処理を中核とし、社会、人間との相互作用を介して、サービスを提供するシステム

### 2. 事業

2-1科学技術に関する普及、調査研究及びこれらに対する助成に関する事業

2-1-1メカトロニクス技術・ロボット技術の普及活動と助成事業

2-1-1-1 マイクロマウス大会(公益事業)の開催

#### 第39回全日本学生マイクロマウス大会の開催

##### 【事業内容・実施時期】

大会名称 第39回全日本学生マイクロマウス大会

開催日程 2024年11月30日(土)(試走会), 12月1日(日)

開催会場 東京理科大学野田キャンパス6号館

主 催 公益財団法人ニューテクノロジー振興財団

参加台数 120台(MM25、CM52、RT43、昨年実績102台)

運 営 第39回全日本学生マイクロマウス実行委員会

運営協力 マイクロマウス・サポーターズ、ほか関連団体

後 援 経済産業省、文部科学省、一般社団法人日本機械学会、一般社団法人日本ロボット学会、公益社団法人 計測自動制御学会

#### 第45回全日本マイクロマウス大会(マイクロマウス2024)の開催

##### 【事業内容・実施時期】

大会名称 第45回全日本マイクロマウス大会(マイクロマウス2025)

開催日程 2025年2月22日(土)(試走会), 23日(日)

開催会場 東京流通センター第二展示場Fホール

主 催 公益財団法人ニューテクノロジー振興財団

参加台数 179台(MMF16、MMS24、CM78、RT61、昨年実績186台)

登録参加国 日本、チリ、韓国

運 営 マイクロマウス2024実行委員会 実行委員長:鈴木秀和(東京工芸大学)

運営協力 マイクロマウス・サポーターズ、東京工芸大学鈴木研究室

後 援 経済産業省、文部科学省、一般社団法人日本機械学会、一般社団法人日本ロボット学会、公益社団法人 計測自動制御学会

#### 2-1-1-2マイクロマウス地区大会の助成

今年度は、下記の大会を実施した。

2024年7月21日 関西地区大会 大阪電気通信大学

2024年9月1日 中部初級者大会 名古屋工学院専門学(中止)

2024年9月29日 北陸信越地区大会 新潟コンピュータ学院

2024年10月6日 東北地区大会 TASパークホテル

2024年10月27日 九州地区大会 熊本高等専門学校

2024年11月3日 中部地区大会 名古屋工学院専門学

2024年12月8日 マイクロマウス金沢草の根大会 金沢工業大学(白山キャンパス)校

2024年12月22日 東日本地区大会 東京工芸大学

イベント支援

2024年7月6、7日 デンソーカップ(愛知県刈谷市+株式会社デンソーのイベント)

その他

三菱電機株式会社より新競技の提案があり、検討を行い、2025年2月に開催した全日本マイクロマウス大会にて、デモを行った。また、新競技検討のための委員会を設置した。

#### 2-1-1-3 つくばチャレンジへの協力

##### 【開催概要】

主 催:つくばチャレンジ実行委員会、つくば市

共 催:科学技術振興機構、日本ロボット学会、日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門、計測自動制御学会システムインテグレーション部門

協 力:ニューテクノロジー振興財団、茨城県

事務局:つくば市科学技術振興部 科学技術・特区推進課

開催日程:2024年5月から11月(記録会2024年12月8日(日))

開催場所:つくば市役所付近のコース約2,000m

#### 2-1-2 その他の普及活動

WEB、メーリングリストを通じて行った。

#### 2-1-3 情報交流・国際交流に関する事業

- 「International Conference on Intelligent Robots and Systems2024」(知能ロボットとシステムに関する国際会議2024:略称IROS2024)への共催  
開催日程:2024年10月 開催地:アブダビ UAE NTFからの参加者:なし
- アメリカ、アトランタで開催されたAPEC2025(2025年3月開催)のマイクロマウス大会に理事として中川が参加した。また、学生チャンピオンの須田氏が、APEC2025の日本からの招待選手として出場した。
- エクアドルの開催支援を行った。エクアドル大会では4名の出場者があり、IEEEのイベントの中で実施された。(中川が理事として招待され、現地で講演、運営支援に訪問した。)
- チリ大会の開催支援をおこなった。チリ大会では約70台のライントレースの出場数があったとの報告を受けた。また、チリのロボトレースのチャンピオンを全日本マイクロマウス大会に招待し、交流を図った。

### 3. 総務

#### 3-1 会議

##### 3-1-1 理事会の開催

2024年5月23日 第1回定例理事会 ニューテクノロジー振興財団会議室にて開催

2024年11月28日 理事懇談会 ニューテクノロジー振興財団会議室にて開催

2025年3月13日 第2回定例理事会 ニューテクノロジー振興財団会議室にて開催

##### 3-1-2 評議員会等の開催

2024年6月10日 第1回定時評議員会 オンライン審議

2025年3月28日 第2回定時評議員会 みなし開催

#### 3-2 寄附

今年度は計95.3万円、計3名(個人3)の方に寄附金を寄せていただきました。中川友紀子氏より、90万円

のうち70万円を財団事業へという申し込みがあったため、上記の合計額の内、70万円については財団の正味財産のほうへ振り分けました。このほか、25.3万円は特に使途指定ではなかったため、申込書にある通り、半分を財団(12.65万円)へ半分(12.65万円)を公益事業へ配分させていただきました。最終的に、公益事業12.65万円、正味財産82.65万円となりました。

### 3-3 受賞

当団体は、2024年度 経済産業省主催「第11回ロボット大賞」において、長年にわたるロボット競技会の運営を通じた人材育成および裾野拡大の取り組みが評価され、ロボット産業の発展に資する活動として「審査員特別賞」を受賞いたしました。本受賞は、次世代の技術者育成と産業基盤の強化に寄与する当団体の継続的な活動が、公的にも高く評価されたものであり、今後も一層、教育・技術・産業をつなぐ実践の場を提供し、我が国のロボット分野の発展に貢献してまいります。

### 3-4 事業予算、その他について

今年度をご寄附をいただいた。特に新しい事業予算等は策定していない。  
また、理事会で承認した令和6年度予算と事業計画について内閣府に報告した。

以上